

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	八ヶ岳少年自然の家	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 社団法人富士見町開発公社 ・代表者名 理事長 小林 一彦 ・所在地 長野県富士見町富士見6666番地703	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	市民・子ども局子ども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 92,581人 ②年間延べ利用団体数 691団体																										
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>1 収入</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>指定管理料</td><td style="text-align: right;">260,329,000</td></tr> <tr><td>利用料金収入</td><td style="text-align: right;">7,606,093</td></tr> <tr><td>自主事業収入</td><td style="text-align: right;">1,630,320</td></tr> <tr><td>その他収入(食堂ほか)</td><td style="text-align: right;">80,048,692</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">合 計</td><td style="text-align: right;">349,614,105</td></tr> </table> <p>2 支出</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>人件費・賃金</td><td style="text-align: right;">168,575,007</td></tr> <tr><td>光熱水費</td><td style="text-align: right;">24,278,933</td></tr> <tr><td>委託費</td><td style="text-align: right;">13,955,361</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td style="text-align: right;">34,597,889</td></tr> <tr><td>食材料費</td><td style="text-align: right;">68,374,664</td></tr> <tr><td>修繕費</td><td style="text-align: right;">9,154,652</td></tr> <tr><td>その他経費</td><td style="text-align: right;">26,016,274</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">合 計</td><td style="text-align: right;">344,952,780</td></tr> </table> <p>3 差引</p> <p style="text-align: right;">4,661,325</p>	指定管理料	260,329,000	利用料金収入	7,606,093	自主事業収入	1,630,320	その他収入(食堂ほか)	80,048,692	合 計	349,614,105	人件費・賃金	168,575,007	光熱水費	24,278,933	委託費	13,955,361	消耗品費	34,597,889	食材料費	68,374,664	修繕費	9,154,652	その他経費	26,016,274	合 計	344,952,780
指定管理料	260,329,000																										
利用料金収入	7,606,093																										
自主事業収入	1,630,320																										
その他収入(食堂ほか)	80,048,692																										
合 計	349,614,105																										
人件費・賃金	168,575,007																										
光熱水費	24,278,933																										
委託費	13,955,361																										
消耗品費	34,597,889																										
食材料費	68,374,664																										
修繕費	9,154,652																										
その他経費	26,016,274																										
合 計	344,952,780																										
サービス向上の取組	富士見町役場や周辺地域、関連施設と協力し、活動プログラムの拡大とサポート、町内体育施設の利用等、支援強化を図っていた。																										

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
(評価の理由) 概ね計画どおりの事業が実施されていた。利用者数は、第1期指定管理時と比較して、4%の増加であった。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度)年度平均利用者数:89,186人					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか					
(評価の理由) 適切な会計処理がなされ、また、概ね計画どおり、経費が執行されていた。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 主な受入事業である市内小中学校の自然教室事業をはじめ、教育委員会及び学校との連携を密にし、円滑な運営が行われている。また、プログラムの充実のため、地域自治体や周辺施設との連携を図り、支援体制を強化した。ホームページ上で予約申込が可能であることをはじめとした広報の充実に努めている。アンケート等で利用者ニーズを把握し、プログラムサポートや設備改善に反映させた。					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 必要な資格者が採用され、計画どおりの人員配置が行われた。また、予定どおりの研修が実施され、個人情報の取扱いについても適切な運用がなされていた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保			
	防犯対策	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
		施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
	災害への対応	緊急時のマニュアル等が整備されているか			
		避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 各種マニュアルの整備に加え、日常の保守点検や法定に定められた訓練等が確実に実施された。修繕の必要な箇所を確実に把握し、利用者へのサービス低下にならないよう、迅速かつ適正な修繕に努めた。					

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 90点以上 B: 80点以上90点未満 C: 60点以上80点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

八ヶ岳の自然を十分に生かした事業展開や教育委員会及び学校との連携を密にした自然教室の円滑な受入れが行われている。また、年末年始に施設をオープンして、冬季事業を積極的に展開するなど、適切に施設の効用を發揮していた。アンケートの実施と適切な回答、改善の実施がなされ、満足度・利便性の向上のための取組に努めていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、青少年の体験学習や子どもの居場所づくりのため、適切な管理運営を行うこと。各種広報媒体等の充実をさらに努めること。災害への確実な対応を図るため、防災体制の強化に努めること。